



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月3日

上場会社名 積水樹脂株式会社

（コード番号：4212 東証・大証第1部）

（URL <http://www.sekisuijushi.co.jp/>）

問合せ先 代表者 代表取締役社長 福井彌一郎

TEL：(06) 6365 - 3204

責任者 総務部長 早川直樹

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 中間財務諸表作成基準に準拠しつつ、投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しています。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 当第1四半期より、「固定資産の減損に係る会計基準」を適用しております。
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結（新規） 1社（除外） 0社 持分法（新規） 0社（除外） 0社

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 百万円未満は切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	13,471	9.3	718	13.0	699	16.8	336	11.0
17年3月期第1四半期	12,321	4.5	635	124.8	598	131.2	302	338.9
(参考)17年3月期	60,061		5,067		4,856		2,897	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	7.30	7.26
17年3月期第1四半期	6.66	6.61
(参考)17年3月期	61.68	61.25

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のがわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加しましたほか、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、全体的に回復基調を示してまいりましたものの、原油価格高騰の長期化や公共投資の縮減等、懸念材料もあり依然として予断を許さない状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は原材料価格高騰への対応策や全社的なコスト削減に積極的に取り組む一方、新製品の早期上市やコア製品の拡売に努力を傾注しました結果、当第1四半期の連結業績は売上高が134億7千1百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は7億1千8百万円（前年同期比13.0%増）、経常利益は6億9千9百万円（前年同期比16.8%増）、四半期純利益は3億3千6百万円（前年同期比11.0%増）と増収・増益の成績を納めることができました。なお、特別損益につきまして、旧枚方工場の土地売却益12億9千7百万円（単体で12億9千7百万円）を特別利益に計上し、当第1四半期より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用したことに伴う減損損失11億1千7百万円（単体で10億5千6百万円）を計上しました。

各事業別セグメントの状況は以下のとおりです。

道路・都市環境関連事業

景観に配慮した車両用防護柵の品揃え強化や現場での勾配対応が可能な「フレックスロープ」等差別化製品の拡売等により柵関連製品の売上が伸長しましたほか、人工木材「オレンジウッド」も建築資材メーカー向けに売上を伸ばしました。また、人工芝は「ドリームターフ」が関東地区でスポーツ施設の大口物件を受注するなど好調に推移しました。ETC（自動料金収受システム）周辺の電波障害を防ぐ「電波吸収パネル」や夜間の視認性に優れた「ポールコーン」も順調に成績を伸ばしましたが、公共事業の縮減に伴い、防音壁や標示材、高欄等の売上は伸び悩みました。

この結果、道路・都市環境関連事業の売上高は49億6千3百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は1千1百万円となりました。

住建生活・産業関連事業

メッシュフェンスが販売網の強化等により、引き続き大幅に売上を伸ばしましたほか、目隠し塀も吸音機能を兼ね備えた製品が好評を博し、売上伸長を示しました。また、新機能を付加した壁システム「ウォールオン」が大手自動車メーカーのショールーム向けに採用され実績を伸ばしました。包材関連製品では、梱包用バンドが、企業の海外生産工場移転に伴う消費量減少等により低調に推移しましたが、物流の省力化にマッチしたストレッチフィルム包装機等が前年同期を上回る成績を収めました。

アルミ樹脂複合板は、建築物解体現場向けの防音パネルが好調に推移しましたほか、デジタルピッキングシステム関連製品も大口物件の受注や米国での需要増加により売上を伸ばしました。

この結果、住建生活・産業関連事業の売上高は84億5千3百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は9億3千2百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

その他事業

商事部門は低調に推移しましたほか、保険手数料も前年同期を下回る成績となりました。

この結果、その他事業の売上高は5千3百万円（前年同期比21.5%減）、営業利益は5百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	75,093	41,731	55.6	905.27
17年3月期第1四半期	71,198	38,979	54.7	857.32
(参考)17年3月期	80,423	41,738	51.9	905.74

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	136	1,677	815	11,362
17年3月期第1四半期	245	8	773	7,491
(参考)17年3月期	5,244	2,506	394	10,357

〔財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べて53億2千9百万円減少し、750億9千3百万円となりました。これは、売掛債権が減少したこと及び有形固定資産の減損処理並びに売却処理したことなどによるものであります。また、当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末に比べ10億5百万円増加し、113億6千2百万円となりました。

当第1四半期までのキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動によって得たキャッシュ・フローは、1億3千6百万円となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益8億7千2百万円、売掛債権の減少34億6千6百万円等による資金増加の一方、仕入債務の減少及び法人税の支払等を行ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動により得たキャッシュ・フローは、16億7千7百万円となりました。

これは、有形固定資産及び投資有価証券の売却等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動に使用したキャッシュ・フローは、8億1千5百万円となりました。

これは、借入金の返済を行ったこと等によるものであります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、

(要約)四半期連結損益計算書、

(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

セグメント情報

以上

【参 考】

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、平成17年5月11日に発表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 金額 :百万円、構成比 :%)

期 別 科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		(参考) 平成17年3月期		比較増減	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)							
流動資産	44,677	59.5	48,531	60.3	3,854	40,119	56.3
現金及び預金	11,362		10,357		1,005	7,491	
受取手形及び売掛金	21,653		25,124		3,470	21,355	
有 価 証 券	207		209		1	281	
た な 卸 資 産	6,586		7,150		563	6,280	
そ の 他	4,974		5,796		822	4,821	
貸倒引当金	107		105		1	110	
固定資産	30,416	40.5	31,891	39.7	1,475	31,078	43.7
有形固定資産	20,282	27.0	21,740	27.0	1,458	20,381	28.6
建物及び構築物	7,188		7,733		544	7,293	
機械装置及び運搬具	4,965		4,525		440	4,395	
土 地	7,345		8,260		914	7,021	
そ の 他	782		1,221		439	1,670	
無形固定資産	269	0.4	266	0.4	3	330	0.5
投資その他の資産	9,864	13.1	9,884	12.3	20	10,366	14.6
投資有価証券	6,432		6,534		102	6,602	
そ の 他	3,694		3,612		82	4,048	
貸倒引当金	262		262		-	284	
資産合計	75,093	100.0	80,423	100.0	5,329	71,198	100.0

期 別 科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		(参考) 平成17年3月期		比較増減	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)							
流動負債	22,573	30.1	27,761	34.5	5,187	21,682	30.5
支払手形及び買掛金	13,020		16,040		3,020	12,590	
短期借入金	4,189		4,711		521	4,339	
未払法人税等	670		1,719		1,049	324	
賞与引当金	483		906		422	444	
その他	4,209		4,383		174	3,984	
固定負債	9,999	13.3	9,956	12.4	42	10,140	14.2
長期借入金	5,004		5,004		-	5,005	
退職給付引当金	4,323		4,330		6	4,546	
役員退職慰労引当金	465		449		15	487	
その他	205		172		33	101	
負債合計	32,572	43.4	37,717	46.9	5,145	31,823	44.7
(少数株主持分)							
少数株主持分	790	1.1	967	1.2	177	395	0.6
(資本の部)							
資本金	12,334	16.4	12,334	15.3	-	12,334	17.3
資本剰余金	13,128	17.5	13,127	16.3	1	13,120	18.4
利益剰余金	16,186	21.5	16,209	20.2	22	13,843	19.4
その他有価証券評価差額金	823	1.1	849	1.1	25	761	1.1
為替換算調整勘定	253	0.3	252	0.3	0	343	0.5
自己株式	489	0.7	529	0.7	40	736	1.0
資本合計	41,731	55.5	41,738	51.9	6	38,979	54.7
負債、少数株主持分及び資本合計	75,093	100.0	80,423	100.0	5,329	71,198	100.0

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位 金額 :百万円、百分比 :%)

期 別 科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)		比較増減	(参考) 平成17年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
売 上 高	13,471	100.0	12,321	100.0	1,150	60,061	100.0
売 上 原 価	9,723	72.2	8,617	69.9	1,106	42,218	70.3
売 上 総 利 益	3,747	27.8	3,703	30.1	43	17,842	29.7
販売費及び一般管理費	3,028	22.5	3,068	24.9	39	12,775	21.3
営 業 利 益	718	5.3	635	5.2	82	5,067	8.4
営業外収益	106	0.8	141	1.1	34	448	0.8
受取利息及び配当金	87		92		4	227	
雑 益	18		49		30	221	
営業外費用	125	0.9	178	1.4	52	660	1.1
支 払 利 息	70		69		1	251	
雑 損	54		108		54	408	
経 常 利 益	699	5.2	598	4.9	100	4,856	8.1
特別利益	1,297	9.6	-	-	1,297	397	0.6
特別損失	1,124	8.3	4	0.1	1,120	147	0.2
税金等調整前 四半期(当期)純利益	872	6.5	594	4.8	278	5,105	8.5
法人税等	506	3.8	259	2.1	247	2,047	3.4
少数株主利益	30	0.2	33	0.3	2	160	0.3
四半期(当期)純利益	336	2.5	302	2.4	33	2,897	4.8

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
.営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		872	594	5,105
減価償却費		460	459	1,948
売上債権の増加額()又は減少額		3,466	3,009	200
たな卸資産の増加額()又は減少額		578	489	1,323
仕入債務の増加額又は減少額()		2,514	1,608	1,460
その他		1,052	99	304
小計		1,811	1,865	7,295
法人税等の支払額 他		1,674	1,619	2,050
営業活動によるキャッシュ・フロー		136	245	5,244
.投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出、売却による収入		1,058	375	2,750
投資有価証券の取得による支出、売却による収入		714	0	38
その他		95	384	206
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,677	8	2,506
.財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純減少額		520	465	72
配当金の支払額		320	318	546
その他		25	10	223
財務活動によるキャッシュ・フロー		815	773	394
.現金及び現金同等物に係る換算差額		3	6	4
.現金及び現金同等物の増加額又は減少額()		1,001	526	2,339
.現金及び現金同等物期首残高		10,357	7,824	7,824
.連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額		4	193	193
.現金及び現金同等物期末残高		11,362	7,491	10,357

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	4,963	8,453	53	13,471	-	13,471
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	61	5	66	(66)	-
計	4,963	8,515	59	13,537	(66)	13,471
営 業 費 用	4,952	7,582	53	12,588	163	12,752
営 業 利 益	11	932	5	948	(230)	718

前年同四半期（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	4,631	7,621	68	12,321	-	12,321
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	66	6	72	(72)	-
計	4,631	7,687	74	12,393	(72)	12,321
営 業 費 用	4,680	6,799	67	11,546	138	11,685
営 業 利 益	49	888	7	846	(211)	635

前連結会計年度（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	28,329	31,435	297	60,061	-	60,061
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	158	22	180	(180)	-
計	28,329	31,593	319	60,242	(180)	60,061
営 業 費 用	25,709	28,237	292	54,238	755	54,993
営 業 利 益	2,619	3,356	27	6,003	(935)	5,067